



国の将来を潤す 水を届けたい

美しいカリブの海と豊かな緑に恵まれた島国ジャマイカで、水の安定的な供給が課題となっている。小さなこの国の未来を築くため、JICAは、水道施設の維持管理を支える人材の育成と、施設の整備に取り組んでいる。

水を安定的に供給するために

「木と水の大地（ザイマカ）」
——かつての先住民は、この地を現地語でそう呼んだ。秋田県ほどの面積を持つカリブ海の島国・ジャマイカの国名の語源となった言葉だ。その名にふさわしく、生態系豊かな熱帯雨林、コーヒーの産地として名高いブルーマウンテン、北部沿岸の美しい海岸に代表される豊富な自然に囲まれている。降水量も比較的多く、合わせて120本以上

上の河川が流れるなど、特に水資源で困ることもない。
だがそんなジャマイカで長年の課題となつてきているのが、水の安定的に供給できないこと。水道の普及率は70%を超えているものの、漏水などにより、浄水場から各所へ送られる間に65%にも上る水が失われている。その影響で、首都キングストンをはじめ各地で断水が起きることも珍しくない。また、雨が降ると水道水が濁ってしまうなど、水質管理にも課題を抱えている。

主な原因は、水道施設の老朽

化や、水道事業を運営する国家水委員会（NWC）の不十分な運営・維持管理体制と少ない予算、そして技術を持った人材の不足だ。そこでJICAは、1996年より円借款によってキングストン首都圏の2つの地区で水道施設の修復・拡張を支援しているほか、2007年から技術協力「上水施設維持管理能力強化プロジェクト」を実施している。

「ジャマイカは規模が小さく資金も少ないため、古い水道施設の改修やメンテナンスが進んでいません。また、外国からの援助などで施設が整備されても、それを維持管理するための人材やNWCの組織体制が不十分で、継続性に欠けています」
そう話すのは、「上水施設維持管理能力強化プロジェクト」を統括するJICA専門家の大坂進一さん。JICAは、NWC



日本で研修に参加したNWCの職員たち。東京都東部地域の約250万人に水を供給する東京都葛飾区の間町浄水場を視察した

が効率的な給水事業を継続できるように、水道施設の維持管理や水質管理の能力向上のほか、水運用や無取水※対策の計画・立案を担う人材の育成に取り組んでいる。これまで、4つの浄水場と給水区域をモデルサイトに、効率的な浄水場の運転、施設の日常点検や安全管理、水のサンプリングや水質検査の手法など、現場の細かいニーズに合ったさまざまな研修を担当職員に向けて実施し、技術力の向上と定着に努めてきた。

人材育成と施設の整備に 包括的に取り組む

「以前は技術的な裏付けのもとに基礎を正しく教えられる指導者がいなかったため、初歩的な技術の再確認から始めなければならなかった」と大坂さん。「本当の成果が出るのはこれから」と言うが、すでに浄水場の機材故障の頻度が減ったり、水質不適合と判断される日も少なくなると、徐々にその効果が現れてきているようだ。

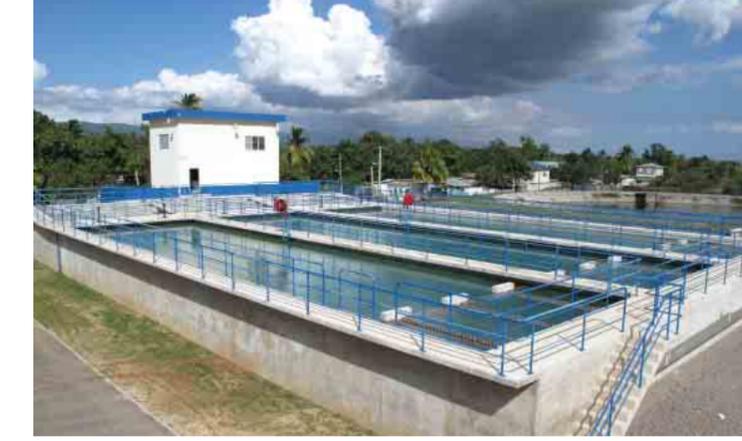
こうした組織の能力強化は、首都の人口増加に対応する水の供給能力の向上を目指し、浄水場、配水池、給水施設の改修や、古い水道管の交換などを行って

きた円借款による支援との相乗効果も意図して行われている。今後も現行の円借款を通じ、新たな配水池の建設や、長さ延べ26キロに及ぶ配水管網の整備が予定されている。
規模が小さいジャマイカのよ

うな島国では、社会インフラの整備を担う人材や技術に限られる。そのため、施設整備と組織の能力強化・人材育成を図るJICAの包括的な取り組みは、水道事業全体の安定のみならず、国の将来設計を考える上で大きな意味を持つ。主要産業の一つである観光の開発が北部沿岸を中心に進む中、水の安定供給は欠かせない。また、効率的な給水事業の実施は水資源の有効利用や環境負荷の低減につながり、深刻化する気候変動を緩和させるといっても有効だ。

3月下旬より約1カ月、JICAの支援の一環で、NWCの職員4人が水道事業管理を学ぶため日本を訪れた。「見るものすべてを吸収して帰りたい」と力強く語る彼らの目は使命感に満ちていた。国の基盤を支える確かな技術と人材を育てるこうした取り組みが、ジャマイカの豊かな未来を築いていくための大きな原動力となるに違いない。

※浄水場から各所に送られる間に、漏水などで失われ料金回収が行えない水。



(上) 円借款で改修されたキングストン首都圏スパニッシュタウン地区の浄水場。以前より多くの水を供給できるようになった
(左) 浄水分野の専門家を育成する研修で、講義する大坂さん
(右) 故障した給水施設のモーターを交換するNWCの職員。「据え付け方や使用する工具などにまだまだ改善が必要」と大坂さん



キングストン近郊の川と貯水池を結ぶ導水路。英国統治時代の18世紀半ばに建設された。こうした古い施設の不十分な維持管理が、無取水率の高さの一因となっている

from ジャマイカ
JAMAICA